



江東区議会公明党

このきよふみ通信

2020年第29号

＜発行責任者＞江東区議会公明党

令和2年第三回定例会が終わりました。今回は五度目となる補正予算や令和元年度決算の審査などを行ってまいりました。10月23日には区議会公明党として、令和3年度予算要望書を江東区長に提出しました。今年度予算では、区議会公明党が要望してきた内容も新たにありましたので、まとめてご報告させていただきます。

10月23日、409項目にわたる 令和3年度予算要望書を江東区長に提出



いままで予算要望してきた施策

◎インフルエンザ予防接種

今回令和2年10月1日から**65歳以上の高齢者**と
11月1日から**生後6ヶ月～小学2年生のお子さん**が
無償で予防接種できることになりました。
(令和3年1月31日まで)



◎ロタウイルスワクチンが定期接種化に!

このたび令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが定期予防接種になりました。いままで自己負担で行うため誰でも費用を考えずに接種ができるように要望してきたことが実施されました。

◆対象:令和2年8月1日以降の生まれ、10月1日以降に接種する方

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいします

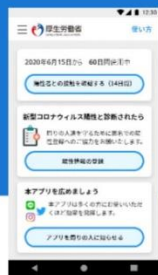
自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称: COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application



接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはなりません
・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
・端末の中のみで接触の履歴(ランダムな符号)を記録します
・記録は14日経過後に削除となります
・連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
・Bluetoothをオフにするとも記録されません

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



厚生労働省



内閣官房

新型コロナウイルス感染症対策推進室

情報通信技術(IT)総合戦略室

◎新型コロナウイルス感染拡大防止のために登録!

COCOAの利用者は原則、陽性者との接触通知を受けた場合に、希望すれば**無料でPCRなどの行政検査を受けることができます。**

区民相談は『このきよふみ』までお気軽にご連絡ください!

連絡先:080-9804-7350

【裏面】Facebook,LINEのQRコード



令和2年第三回定例会 決算審査特別委員会質問(抜粋)

①特別区税の不納欠損

Q:特別区税の不納欠損(未納となっている区民税等のうち、徴収の見通しが立たないなどの理由で未収金から除くこと)のさらなる削減を。

A:納期内納付の推進、滞納の早期解消、適正な滞納処分を基本方針に各取り組みの一層の充実を図り努める。

Q:とくに**母国に帰る外国の方**への対応策はどうか

A:帰国する外国の方には区民課窓口で日英中3カ国語などのチラシで納税管理人の設定の必要性を伝えている。今後も外国の方にわかりやすい案内に努める。

③肺がん検診

Q:令和元年度は胃がん・肺がん検診の受診シールを新たに個別通知をして、前年度より受診率は向上しているが、とくにがんによる死因第一位の肺がんについてはさらなる受診率向上が必要である。

そこで受診率向上につながっている**健康診査を行っている医療機関で同時に肺がん検診**を受けることができるように、画像の読影を委託するなど前向きに検討をすべき

A:他のがん検診の外部委託の状況を踏まえ検討を続ける。

Q:未受診者への**再勧奨ハガキ**の内容に工夫を

A:受診の動機づけにつながる内容と発送時期を検討する。

②放課後等デイサービス

Q:**児童発達支援・放課後等デイサービス**を利用する子どもたちは年々増加傾向である。次期障害児福祉計画では民間参入を考えると見込み数の増加をしていくべき。

A:来年度からの3カ年のサービス量の見込み量とそれに応じたサービス提供体制の確保も併せて検討。民間参入による体制確保を基本に進める。

Q:保護者が**事業所を選びやすい情報提供**をしていくべき。

A:保護者が事業所を選ぶ際に、重視する内容をまとめた資料を区ホームページに掲載するなど早期実施を検討。

④私道防犯灯

Q:**私道防犯灯**の維持・設置費助成を見直してLED化を推進していくべき

A:助成については検討中。また水銀灯は相談を受けた場合、LED灯への交換を助言する。

Q:電気配線工事がいらず設置場所が柔軟にできる**ソーラー型防犯灯や防犯カメラ**等も情報収集して検討を

A:ソーラー式を含め、その他の技術の進歩を注視する

◆82カ所の避難所に、簡易テント、携帯トイレ、非接触型体温計を配備。
携帯トイレは令和元年3定・令和2年2定で質問を重ねて、まずは全体で9万8千個配備へ。

赤羽国交相(中央)に提言する岡本座長(左隣)ら=21日 国交省



党都本部PT、赤羽国交相に要請 広域避難 体制整備も

赤羽国交相は要望内容について、「なるべく早く進めていく」と述べた。

一方、広域避難の推進については国のリードが重要」と主張。避難所の開設やホテル・旅館の借り上げなどにかかる費用について、国庫負担を可能にするよう要請した。

公明党東京都本部の「江東5区大規模水害対策検討プロジェクトチーム」(座長=岡本三成衆院議員)は21日、国土交通省で赤羽一嘉国交相(公明党)に対し、荒川下流の堤防沿いで、満潮時の海面より土地が低い江東5区(墨田、江東、足立、葛飾、江戸川)の水害対策について緊急提言した。岡本座長のほか、党都本部の高木陽介代表、高木美智代代表代行とともに衆院議員、都議、区議らが出席した。

江東5区

荒川の氾濫対策急務

昨年台風19号で区内初の避難勧告を受け、地元より荒川堤防の強化の要望をいただいております。

今回公明党東京都本部では、**江東5区大規模水害対策検討PT**を立ち上げました。

その後、周囲の堤防より低い**京成本線・荒川橋梁**の調査や区議会公明党でも**細田いさむ都議会議員(写真左から4番目)**とともに**小名木川排水機場**周辺の耐震補強工事の視察などを行ってきました。

そして10月21日、赤羽一嘉・国土交通大臣に、江東5区の水害対策について緊急提言致しました。



このきょういみ
QRコード

